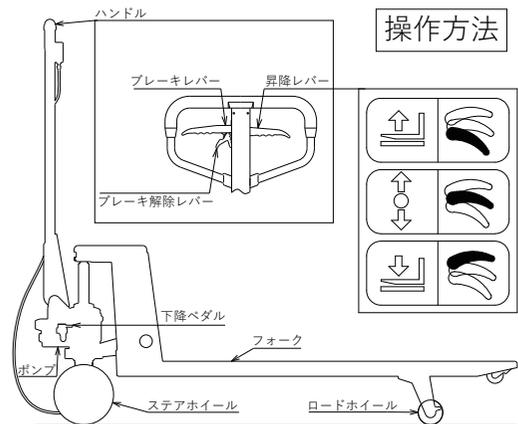


# KOLET パレットトラック NE

## 取扱説明書

- このたびはパレットトラックをお買上げいただき、ありがとうございます。
- この説明書には操作方法、日常点検、簡単な手入れ等について説明してあります。
- 使用されます前に御熟読いただき、正しい取扱いで最良の状態、より長く御使用いただきます様、お願い申し上げます。



### 操作方法

- フォーク上昇  
昇降レバー最下位にて 位置になります。ハンドルを上下に操作するとフォークが上昇します。
- 車体の押引き  
昇降レバーを中間位置 にして車体を押し引きしてください。ハンドルを上下させてもフォークが上昇しないので案に運搬できます。
- フォーク下降  
昇降レバーを握り 位置にするとフォークは下降します。握り加減で下降速度が調整できます。下降ペダルを踏むことでもフォークは下降します。下降ペダルは荷物を載せていない時のみご使用ください。
- パーキングブレーキ  
ブレーキレバーを握るとステアホイールがロックされます。ブレーキを解除するにはブレーキ解除レバーを握りながらブレーキレバーを最下位まで戻します。

### ご注意

#### 警告



最大荷重を超えた荷重で 衝撃荷重や集中荷重をかけないでください。 荷物はフォークの中心に使用しないでください。 積んでください。



傾斜面では使用しないでください。 フォークの上に乗らないでください。 フォークの下に手や足を入れないでください。

#### 注意

- ハンドル樹脂部分は強い衝撃や薬品にご注意ください。
- 水気の多い所では使わないでください。
- 急激な下降操作をしないでください。
- フォークリフト等で無理にけん引しないでください。
- パーキングブレーキは傾斜面では使用しないでください。
- パーキングブレーキは走行中に使用しないでください。
- 可動部に指などが挟まれないようにご注意ください。
- ホイールに足が巻き込まれないようにご注意ください。
- 走行時には周囲の安全を確認してください。

※警告：保護策を実施しなかった場合に、人が死亡または重症を負う可能性・本体の破損の可能性のある内容  
※注意：保護策を実施しなかった場合に、人が軽傷を負う可能性・本体の破損の可能性のある内容

### パーキングブレーキについて

本機のパーキングブレーキは停止保持を目的として搭載しています。傾斜地や走行時の制動を目的として使用しないでください。

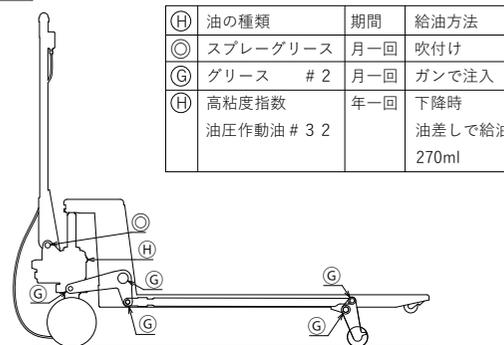
走行時にパーキングブレーキを使用すると荷崩れや横転の原因となり、大変危険です。制動距離は路面状況や積載荷重によって変化しますので、走行時はブレーキに頼らず、いつでも停止できる速度で走行してください。

また、負荷状態でハンドパレットトラックを放置すると、路面状況によっては逸走する可能性があり、大変危険です。停車時はフォークを最低位に下ろし、無負荷状態でパーキングブレーキをかけてください。

### 日常点検

点検箇所	点検方法
ポンプ	●油もれないか ●上昇・中立・下降の作動正常か
フレーム	●曲がり・ねじれはないか ●片上りはないか
ホイール	●異常摩耗・剥離はないか ●糸くず等での回転不良はないか
ブレーキ	●作動正常か
その他	●給油忘れないか ●ネジのゆるみはないか

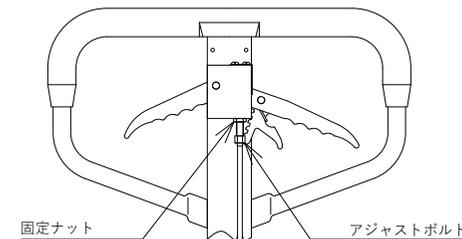
### 給油方法



記号	油の種類	期間	給油方法
①	油の種類	月一回	吹付け
②	スプレーグリース	月一回	ガンで注入
③	グリース #2	年一回	下降時油差して給油 270ml
④	高粘度指数		
⑤	油圧作動油 # 3 2		

### ブレーキの調整

- ブレーキの効きが悪い場合
  - 1 アジャストボルト固定ナットをゆるめる
  - 2 アジャストボルトを下方に動かすように回す
  - 3 アジャストボルト固定ナットをしめる
- ブレーキ解除状態でもブレーキが効く場合  
あそびが狭すぎる場合
  - 1 アジャストボルト固定ナットをゆるめる
  - 2 アジャストボルトを上方向に動かすように回す
  - 3 アジャストボルト固定ナットをしめる



### 故障と対策

故障の状況	原因	対策
上昇しない (荷が重すぎませんか)	ポンプ調整不良	再調整
	ポンプに空気混入	昇降レバーを下降位置にしてハンドルを2~3回上下させる
	油圧作動油不足	タンクに給油
下降しない	ポンプ調整不良	再調整
	ヒンジ部油切れ	各ヒンジ部に給油
自然降下する	ポンプ調整不良	再調整
	ピストンパッキン不良	交換
中立がない	ポンプ調整不良	再調整
	バルブ部異物混入	バルブ洗浄
パーキングブレーキが効かない・効きが悪い	ブレーキワイヤー伸び	ブレーキ調整

### 製品の保証

- 製品の保証は新車をお納めした日から3ヶ月とします。(納入日 年 月 日)
- 通常の使用状態で製造上の不具合による故障が起り、弊社が認めた場合、その部品代及び工賃を全額負担します。
- 保証期間内でも下記の場合は保証いたしません。
  - 1 天災・人災による故障
  - 2 酷使・過失・手入れ不十分または事故による故障
  - 3 弊社の承諾なしに改造したり、純正部品以外を使用した場合
  - 4 取扱い上の不注意または保守・整備の間違い
  - 5 パッキン・ホイール・油脂等消耗品